

株式会社東陽テクニカ



CORPORATE PROFILE 2026

〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6

本 社（代表） TEL 03-3279-0771 / FAX 03-3246-0645
大 阪 支 店 TEL 06-6399-9771 / FAX 06-6399-9781
名 古 屋 支 店 TEL 052-253-6271 / FAX 052-253-6448
宇 都 宮 営 業 所 TEL 028-678-9117 / FAX 028-638-5380

www.toyo.co.jp

※本資料に掲載された社名、ロゴおよび製品名は各社の商標または登録商標です。
その他本文中の商標および登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。



MESSAGE

“はかる”技術で未来を創る 技術革新を支える最先端の計測ソリューション



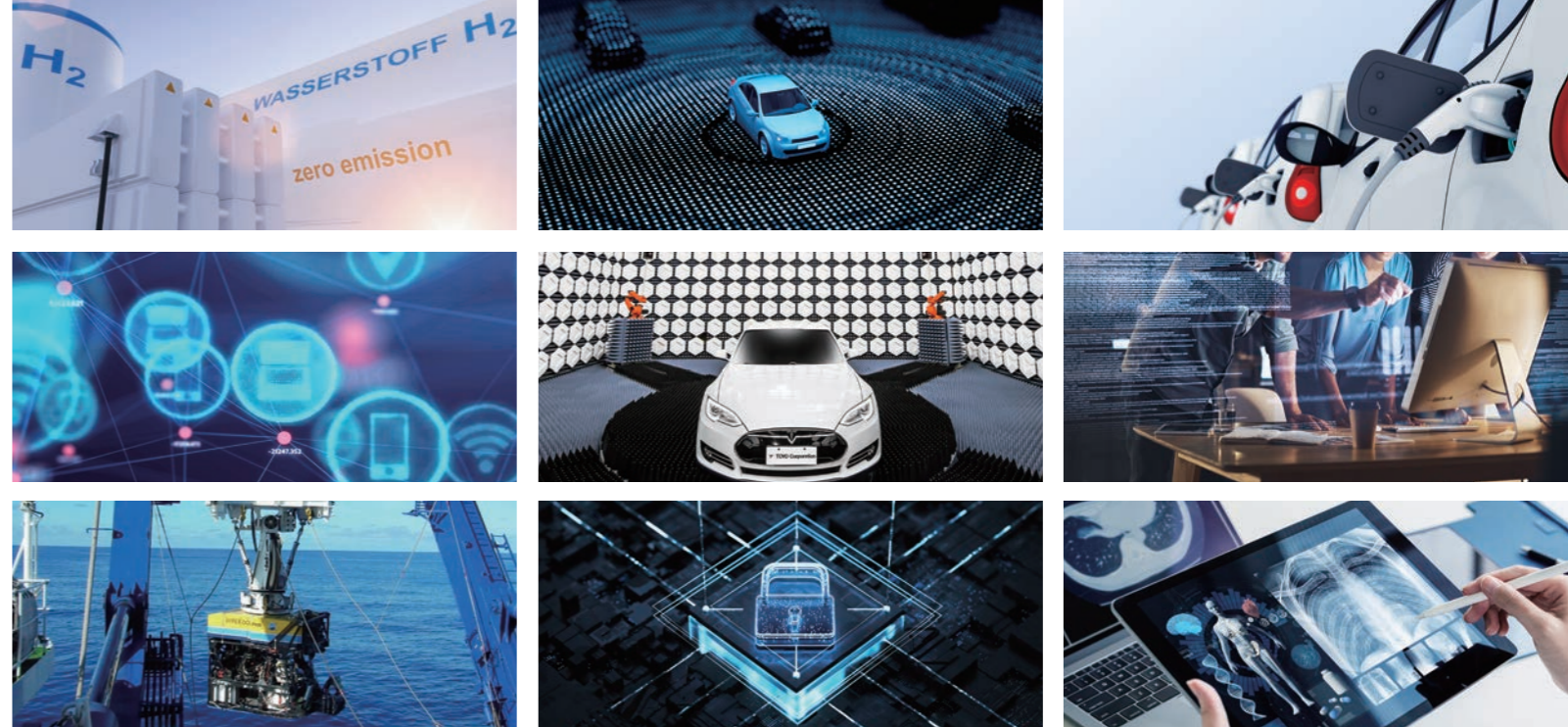
東陽テクニカは、“はかる”技術のリーディングカンパニーとしてさまざまな技術革新に貢献しています。

最先端の計測ソリューションを国内外の産業界に提供し、その事業分野は脱炭素／エネルギー、先進モビリティ、情報通信／情報セキュリティ、EMC(電磁環境両立性)／大型アンテナ、防衛／海洋、ソフトウェア開発支援、ライフサイエンス、量子ソリューションなど、多岐にわたります。

長年培ってきた技術力を基盤に、付加価値の高い自社製品や独自ソリューションの開発、スケールが期待できる海外市場への展開、積極的な事業投資やM&Aによって成長戦略を推進しています。

また、サステナビリティを重視した企業運営を通じて、社会課題の解決と持続的な企業価値の向上を目指していきます。

代表取締役 社長執行役員
高野 俊也 



企業理念

“はかる”技術で未来を創る

はかる技術のリーディングカンパニーとして、豊かな社会、人と地球に優しい環境創りに貢献する

テクノロジーインターフェース

最先端の計測ソリューションを世界の産業界に提供し、技術革新を支援・促進する

企業価値の向上

計測システム・製品・サービスを創造し続けることで企業価値を向上させ、ステークホルダーと社員に繁栄をもたらす

行動指針

プロフェッショナルであれ

誠実に物事に取り組み、品位と能力の向上に努める

イノベーターであれ

柔軟な発想と勇気を持って、新しい技術や事業に挑戦する

中期経営計画“TY2027”

当社グループは、2030年に目指す姿として長期ビジョン“BT600-2030”を掲げ、現在、2030年までの中間地点である2027年9月期を最終年度とする中期経営計画“TY2027”を推進しています。“TY2027”では「事業戦略」「財務・資本戦略」「サステナビリティ経営の推進」の3本柱を軸とする成長戦略を実行し、持続可能な社会の実現に貢献する計測ソリューションプロバイダーとして企業価値の向上を図ってまいります。



OUR COMMITMENT TO A SUSTAINABLE FUTURE

東陽テクニカは、“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、持続的な企業成長と社会課題の解決を両立しながら、より良い未来とサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

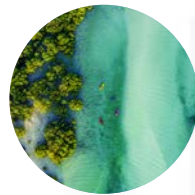
5つの優先課題（マテリアリティ）

社会課題の解決を目指し、将来にわたって社会とともに持続的に成長するために、優先的に取り組むべき課題を特定しています。



技術革新と産業発展に貢献する

「Society 5.0」が描く快適で豊かな社会の実現には、技術革新と産業の発展が不可欠です。“はかる”技術を基軸としたトータルソリューションを提供し、グローバルでの技術革新と産業発展を支えます。また、さまざまなパートナーとの協業を通じて、新たな発想で技術革新に貢献します。



環境保全を推進する

気候変動や海洋汚染などの地球環境問題は、企業や自治体が協働で取り組むべき共通の課題です。当社は、自社の事業活動における脱炭素化に加え、環境負荷の低減に資する技術や新エネルギーの開発支援などを通じて、環境保全を推進します。



安心・安全で豊かな暮らしを実現する

安心で安全な社会の実現には、強固な社会インフラとそれを支えるテクノロジーが欠かせません。当社は、次世代モビリティ、災害対策、通信インフラ、医療など多様な分野におけるソリューションを通じ、人々の安心・安全で豊かな暮らしに貢献します。



多彩な人財の育成と活躍を推進する

持続的な成長を支えるのは、専門性と創造性を持つ多様な人財です。変化する社会環境に対応しながら制度を拡充し、さまざまなバックグラウンド、経験、スキルを持つ社員が、自分らしく働き、能力や強みを存分に発揮できる職場環境を構築します。



健全で強固な経営基盤を確立する

中長期的な企業価値の向上や企業成長には、健全で強固な経営基盤が欠かせません。企業理念と行動指針に基づき、さまざまなステークホルダーと公正かつ良好な関係を築きながら、監視・監督機能を備えたガバナンス体制を整えます。

イニシアティブへの参画・社外からの評価



世界的なESG投資指数「FTSE JPX Blossom Japan Index」および「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました（2025年7月）。これらのインデックスは年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）にも採用されています。



環境分野に特化したESG評価機関CDPの「気候変動」において、8段階評価の中で上位から3番目の「B」スコアを取得しました（2025年12月）。



「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言に賛同するとともに、「TCFDコンソーシアム」に参画しています。



「企業が責任あるリーダーシップを発揮して社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現する」という国連グローバル・コンパクトの趣旨に賛同し、署名しました（2025年4月）。また、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの各分科会に参加し、情報収集と共有化を行っています。

東陽テクニカの取り組み



長崎県新上五島町における藻場再生・保全活動に参加

当社は、長崎県新上五島町が推進する藻場の再生・保全活動に2023年から参加し、藻場の再生状況の計測を支援しています。2025年には、海草が吸収したCO₂量が「ジャパンブルーエコノミー技術研究組合」により「Jブルークレジット」として認定されました。当社は、総吸収量の約3分の1にあたる2.5トン分を購入してカーボンオフセットを実施。こうした活動を積み重ねることで、環境保全に取り組んでいます。



安心・安全なモビリティ社会の実現へ

自動運転は、事故の減少や地域交通の維持など、社会課題の解決に寄与する技術として期待されています。その実用化には、高精度で信頼性の高い安全性評価が欠かせません。当社は、多様な走行環境を施設内で精密に再現できる独自システム「DMTS」を開発し、自動運転技術の安全性評価を支えています。同システムは一般財団法人日本自動車研究所（JARI）の試験にも採用されるなど、その技術力は高く評価されています。



働きやすい職場づくり

当社は、社会構造の変化や多様化するライフスタイルに対応し、従業員一人ひとりがワーク・ライフ・バランスを保ちながら、意欲的に活躍できる職場づくりを進めています。テレワークやフレックスタイムなど柔軟な働き方が選択できる制度を充実させ、育児や介護などのライフイベントと両立しやすい環境を整えています。また、男性社員の育児休業取得を推進しており、2025年度の取得率は100%となりました。



MEASUREMENT SOLUTIONS PROVIDER

セールス、開発、サポート、それぞれの業務を担うエンジニアが、お客様の価値創出を支えます。
計測技術の高度な知識とノウハウを備え、国内外のビジネスパートナーとの連携や
自社開発で生み出すソリューションで、お客様のニーズや課題に対応。
このビジネススタイルこそ、「計測ソリューションプロバイダー」
東陽テクニカならではの真価です。

お客様の
価値創出のパートナーとして
**信頼に
応えるために**

明日のニーズを **捉え**、当社のシーズを **育てる**

計測ソリューションによって **解決する**



世界中の仲間とともに ——

当社は世界150社以上の企業とパートナーを組み、計測に関わる最先端の技術を提供しています。日々進化するさまざまな市場において、求められる技術とは何かを常に考え、新たな分野の技術も積極的に取り込み、オリジナル製品の開発も進めています。当社の70年以上におよぶ知見や技術に加え、パートナーと共にオープンイノベーションによる新たなソリューションを提案いたします。



いつもお客様のそばに ——

お客様のニーズに適した製品を提供するだけでなく、トレーニングやコンサルティングを通じた継続的なサポートを提供し、高い技術レベルの修理・校正サービスの実施によって、信頼に添えてきました。
これからも当社は計測ソリューションプロバイダーとして、お客様の課題を共に解決する価値創出のパートナーとなり、お客様に寄り添い支援してまいります。

世界のトレンドを
探す

新分野の技術に
挑む

先端技術を
究める

培ったノウハウで
創る

コンサルティングを
通して
寄り添う

セミナー/
トレーニングで
伝える

ニーズに合わせて
高める

技術サポートで
支える

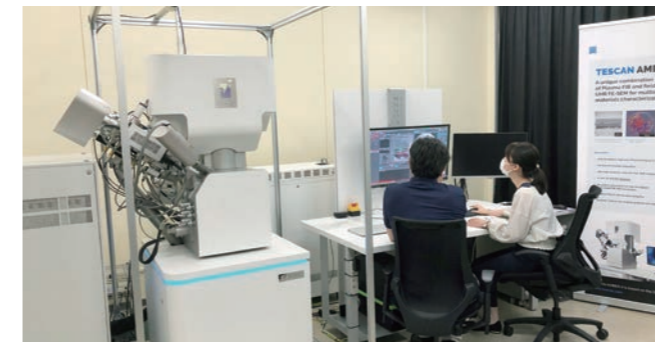
ソリューションの創出を支える各施設



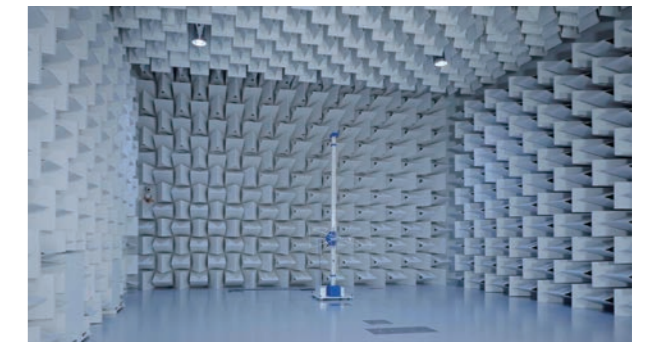
R&Dセンター
お客様の研究開発を支える技術開発拠点



テクニカルリサーチラボ(テクニカル&ロジスティクスセンター内)
新たな技術を積極的に取り入れ製品化に挑戦



ナノイメージングセンター
慶應義塾大学理工学部中央試験所に開設している地域産学官共同研究拠点



計測センター(電波無響室)／東陽EMCエンジニアリング
さまざまな分野のEMC試験に対応
世界各国のEMC試験所認定(A2LA、BSMI認可、TÜV Rheinland提携)を取得

RESEARCH & DEVELOPMENT

自社製品やカスタマイズ製品を数多く開発して、
お客様のニーズを捉えた最適なソリューションを生み出しています。
長年培った技術をシーズとして、
オープンイノベーションによる高価値・高品質の自社オリジナル製品開発に取り組んでいます。

高価値・高品質の自社開発製品



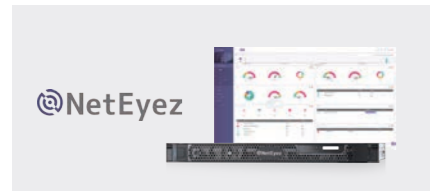
高周波インピーダンス測定システム



EMI計測評価ソフトウェア
[EPX/RE & EPX/CE]



大容量バケツキャプチャ/解析システム
[SYNESIS (シネシス)]



ネットワーク監視ソリューション
[NetEyez(ネットアイズ)]



液晶物性評価システム
[LCE-X(エル・シー・イー・テン)]



燃料電池評価システム
[AutoPEMシリーズ]

その他の主な自社開発製品

- 放射免疫試験ソフトウェア[IM10/RS] | ■インピーダンス解析ソフトウェア[Z-RW-Analysis] | ■比抵抗/ホール測定システム | ■強誘電体特性評価システム
- 3Dインピーダンス解析ソフトウェア | ■モータートルク自動測定システム | ■オールインワンモータートルク試験ベンチ[TSB]シリーズ | ■EMI自動測定システム | ■EMI対策アシストソフトウェア[EMINT]

新たなステージに挑み続けるワン・テクノロジーズ・カンパニー

ワン・テクノロジーズ・カンパニーは、世界に通用するオンリーワン・ナンバーワンの革新的製品の開発を目指して設立された社内カンパニーです。
現在は、バイオサイエンスと、摩擦や摩耗・潤滑を扱う工学分野であるトライボロジーの業界を中心に、新たなソリューションの開発を進めています。

バイオサイエンス

国立研究開発法人理化学研究所の特許技術(特許第7018685号)を基に、「AGM」(アガロースゲル・マイクロカプセル)を開発し、微生物用と動物細胞用のアイソレーションカプセルとして展開。再生医療、細胞移植医療、創薬など幅広い分野での活用を目指し、大学や研究機関との共同研究を進めています。



Cellアイソレーションカプセル
[AGM]

トライボロジー

産業機器の状態監視や予知保全の高度化を実現するソリューションを提供。潤滑油中に含まれる摩耗粉やオイルそのものの劣化具合を計測することで、機器の劣化や異常兆候を早期に把握でき、メンテナンス業務の効率化やコスト削減に貢献します。自動車、風力発電設備、核融合施設など、幅広い分野における機器の管理・計測に展開しています。



油中粒子計測器
[PI-1000]



パッチアナライザ
[PA-250]



カラーアナライザ
[CA-200]

未来の計測ソリューションを創造する技術開発拠点 R&Dセンター



東陽テクニカの技術開発、校正、物流・検査機能など、お客様に提供する製品やソリューション、サービスに関わる機能を集約した施設です。
最先端の設備と計測技術でお客様の課題解決・価値創出に応えます。

■ EV充電テストラボ ワンストップで充電評価試験を実施

EV充電テストラボでは複数の主要な充電規格に対応しています。規格の更新や大容量化に適した評価モードで測定ができ、充電系、制御系、通信系の同期計測が可能です。さらに、屋内での実車評価ができ、開発中の製品でも高いセキュリティの環境下で評価試験することができます。

ドイツの第三者検査機関、 テュフ ラインランド ジャパンとEV充電評価サービスを提供

東陽テクニカが常に最新の充電規格に精通しているエンジニアのもとラボで評価を行い、テュフ ラインランド ジャパンが豊富な知識と経験に基づき試験結果の評価・分析や規格適合判断を実施。信頼性の高いレポートを発行します。



■ 校正ラボ 高精度な校正サービスを迅速に提供

当社のキャリブレーション・ラボラトリーは、ISO/IEC 17025校正機関としてA2LA(米国試験所認定協会)より認定を受けており、EMC・高周波関連機器や音・振動関連機器の精度の高い受託校正を実施しています。検査や修理サービス、技術サポートとのシームレスな連携をセンター内で実現し、さらに迅速なサービスを提供します。



■ ICTラボ 次世代高速通信向け端末の試験も可能

データセンターの環境を再現し、ネットワーク機器の各種評価を実施します。5Gや800Gbpsといった次世代高速通信向け端末のパフォーマンス評価も可能です。



OUR GROUP COMPANIES

最先端の“はかる”技術を協創する私たちのグループ会社と海外拠点

脱炭素／エネルギー、先進モビリティなどの重点セグメントを中心に、グループ会社が持つ独自の技術や知見を活かし、最先端の計測ソリューションを生み出しています。また、海外に拠点・グループ会社を持つことで、国外にも販路を広げています。

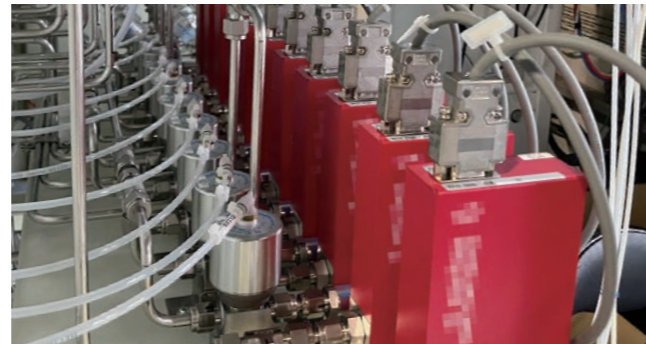
国内グループ会社

■株式会社エル・テール

Hyogo, JAPAN

独自技術を駆使した流体制御装置の設計から製造・据付までを手掛け、その装置は公的研究機関や大手メーカー・ガス会社などの研究開発部門で活用されています。

東陽テクニカは、これらの流体制御装置と当社取り扱いの電気化学測定装置を組み合わせた燃料電池評価システムの製造販売を1999年より継続しており、今後は海外のパートナー企業とも提携して、東陽テクニカ独自の燃料電池および水電解の評価ソリューションを主とする水素事業をグローバルに展開してまいります。



■株式会社東陽EMCエンジニアリング

Tokyo, JAPAN

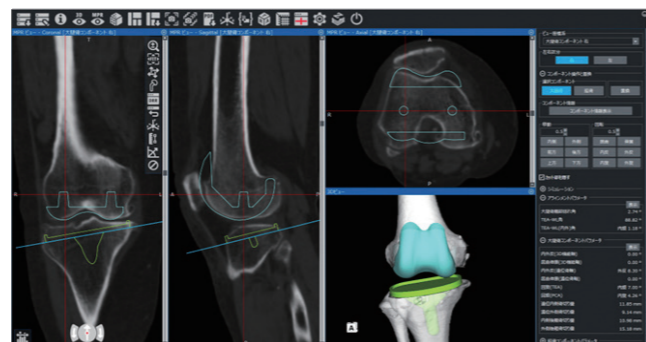
電波無響室を備えた計測センターを国内3か所(つくば、川崎、兵庫三田)に保有しています。情報通信機器から車載機器、医療機器など幅広い分野におけるEMC試験等の測定サービスや、EMC対策支援をはじめ、オンサイト測定、測定器校正、海外認証取得支援サービスなどを手掛けています。校正においてはA2LAより認定を受けた高精度なサービスを展開しています。東陽テクニカと共に、認定校正サービスの受託範囲を拡大し、電波無響室などの施設を有効運用することで、事業を拡大しています。



■株式会社レキシ

Tokyo, JAPAN

整形外科領域において人工関節置換術の術前計画を3Dで支援するソフトウェア「ZedView」を中心に開発・販売しています。人工関節置換術における高精度な計画に貢献し、現在多くの医療施設で活用されています。また、東陽テクニカは同術前計画を2Dで行うソフトウェアを取り扱っており、両社が連携することで顧客ニーズに柔軟に対応し、最適なソリューションを提供しています。これにより、医師の業務負担の軽減や医療の質向上、人々の健康への貢献を目指しています。



海外グループ会社

■Rototest International AB

Rönninge, SWEDEN

「ROTOTEST Energy」の開発・製造を手掛けており、米国やアジア、ヨーロッパとグローバルに展開しています。セットアップが簡便で持ち運びも可能なハブダイナモメーターで、東陽テクニカでは本システムとレーダーシミュレーターやカメラシミュレーターを組み合わせたVILS※統合システムを自社開発しています。2025年には、システム販売・試験サービスを担うドイツ拠点を開設しました。先進モビリティ分野の重要市場であるドイツで技術サポートを強化し、開発を支援しています。

※Vehicle in the Loop Simulation:
実車両とシミュレーション環境を連携し、より現実的な条件で性能の評価・試験ができる技術



事業セグメント

当社では、計測ソリューションを、多様性に富んだ11の事業セグメントで提供しています。
産業界の技術革新に貢献するものから、研究・調査を支えるもの、
持続可能な社会の実現に貢献するものまで。
“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、あらゆる分野のニーズに応えます。

 脱炭素／エネルギー	 オートモーティブ	 eモビリティ
 ICTソリューション	 次世代通信	 EMC／大型アンテナ
 ソフトウェア開発支援	 防衛／海洋	 情報セキュリティ
 ライフサイエンス	 量子ソリューション	



次世代エネルギーの最先端計測技術を提供

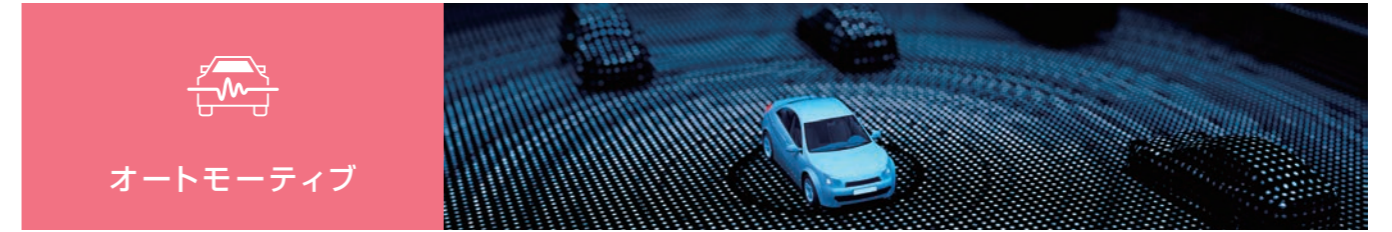
2050年のカーボンニュートラル実現に向け、再生可能エネルギーや電気自動車(EV)の普及など、エネルギーインフラが大きな転換期を迎える中で、東陽テクニカの“はかる”技術は広く活用されています。二次電池や燃料電池のエネルギーデバイスをはじめ、パワー半導体や有機エレクトロニクスなどの電子材料における基礎研究から製品開発まで、幅広く高精度な計測・評価システムを提供しています。

 事業紹介サイトへ	 電気化学測定システム [SP-300]	 燃料電池／水電解評価装置 [AutoPEM/AutoEFC]	 FIB-SEM [Amber X 2]
--	--	--	--

主な取扱製品

- 電気化学測定システム | ■ 二次電池充放電測定システム | ■ 二次電池用材料評価システム | ■ 燃料電池評価システム | ■ 水電解評価システム
- 半導体材料評価システム | ■ 極低温用センサー／測定機器 | ■ 磁性材料・磁気測定機器 | ■ 液晶物性評価システム | ■ 集束イオンビーム・SEM複合装置
- X線マイクロCTシステム | ■ 硬度／ヤング率測定システム

SEGMENTS



自動運転など自動車の先端技術開発や産業インフラの効率化を支援

自動車や鉄道などの輸送機器の「性能(操縦性、乗り心地など)」をはじめ、産業機械を含めた「振動騒音」「安全性／耐久性」などにおける研究・開発を支える計測と解析、実験データの管理に関する機器やソリューションを提供します。特に自動車では電動化や自動運転／ADASといった最先端領域からパワートレイン、車両運動、制御など幅広い分野で最新技術の研究・開発に有用なソリューションを数多く提供しています。

 事業紹介サイトへ	 VILSシステム [DMTS]	 騒音振動解析システム	 機械計測用加速度センサー／マイクロホン
--	--	--	---

主な取扱製品

- 加速度計・インパクトハンマー | ■ マイクロホン・音響粒子速度センサー | ■ 自動運転／ADAS開発・評価ツール | ■ Vehicle in the Loop Simulation (VILS)システム
- CAN／アナログ計測用データ収録システム | ■ 振動騒音／ひずみ／温度計測・解析機器 | ■ 路面計測システム | ■ リソース／データ管理ソフトウェア



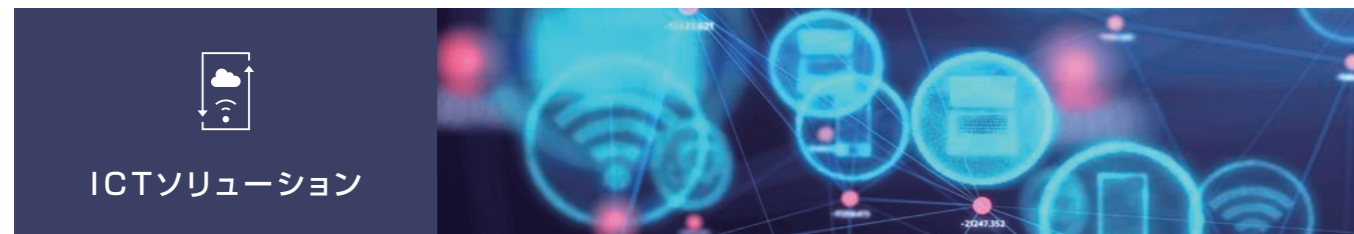
EVをはじめモビリティの電動化を“はかる”技術で推進

新たなモビリティ社会の構築に向けて、電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHV)といったさまざまなeモビリティの航続距離延伸など、技術面での性能向上に寄与するソリューションを提供しています。また、eモビリティの規格適合試験サービスも提供しています。空を移動する新たなモビリティeVTOL(電動垂直離着陸機)では、航空機の技術・評価も含めた独自の計測ソリューションを開発・提供しています。

 事業紹介サイトへ	 EV充電アナライザー／シミュレーター「EVCA」シリーズ	 トルク計測システム	 大容量双方向電源システム
--	--	---	--

主な取扱製品

- EV充電アナライザー／シミュレーター | ■ バッテリーセルシミュレーター | ■ 大容量双方向電源システム | ■ 系統模擬電源・交流電源 | ■ リップルジェネレーター
- トルクメーター／ブレーキシステム | ■ オールインワンモータートルク試験ベンチ | ■ 負荷モーター電動推進評価システム
- EV充電規格適合試験サービス | ■ 電動推進システム評価ベンチ



ICTソリューション

ネットワークに確かな品質と安全性、そして快適な運用を提供

ネットワークの“見える化”を通じて、安心・安全な通信環境を実現します。可視化・解析・監視・時刻同期・音声評価など、運用現場を支援する多彩なICTソリューションを提供します。



事業紹介サイトへ



大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」



仮想環境監視/可視化「uObserve」



高精度3D地図作成「モバイルマッピングシステム」

主な取扱製品

- 大容量パケットキャプチャ/トラブルシュート/ネットワークフォレンジック | ■ ネットワーク監視/可視化/解析 | ■ パケットブロッカー/TAP | ■ 仮想環境監視/可視化
- 高精度時刻同期(高精度PTP、NTPタイムサーバー、光起セシウム発振器、GNSSシミュレーター)
- 5G/ローカル5G/Wi-Fi(サーベイ、設計シミュレーション、無線環境調査) | ■ セキュリティ教育/脆弱性管理/ファジングテスト(ネットワーク/CAN/LIN)
- 高精度三次元測量システム | ■ 音声品質測定(PESQ、POLQA)



次世代通信

次世代通信の発展と品質向上を確かな計測技術で支援

通信ネットワークや無線通信の計測・評価を基盤とする幅広いソリューションを通じて、次世代通信の研究開発・運用を支援します。高度化・多様化する通信技術に柔軟に対応し、通信の品質と信頼性向上を実現します。



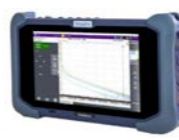
事業紹介サイトへ



次世代ネットワークパフォーマンスステータ「TestCenter」



UEシミュレーター「TM500」



光テスト測定ソリューション

主な取扱製品

- ネットワーク性能評価 | ■ 仮想化・クラウド評価 | ■ セキュリティ・脅威評価 | ■ 無線・モバイル評価 | ■ 光ネットワーク評価 | ■ テスト自動化・オーケストレーション
- GNSS/GPS評価 | ■ 自動車・コネクテッド計測



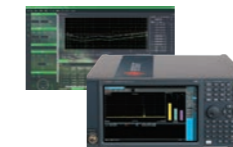
EMC/大型アンテナ

電磁波環境への対応を支えるソリューションを提供

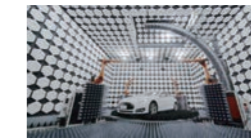
40年以上にわたり、自動車・通信・医療機器など電子機器のEMC(電磁環境両立性)試験を支援。校正や試験サービスを拡充し、EMCに関するあらゆるニーズに対応しています。5G・コネクテッドカー向けのOTA(Over The Air)計測システムを提供するほか、大型パラボラアンテナを備えた地上局の整備にも豊富な実績があり、設置から長期運用までを支える保守サービスも充実。電磁波を活用した多彩なソリューションを提供しています。



事業紹介サイトへ



EMI測定システム



コネクテッドカー向け無線通信性能測定システム



地上局大型アンテナシステム

主な取扱製品

- EMC測定システム | ■ RFパワーアンプ | ■ EMIレシーバー | ■ EMCソフトウェア | ■ アンテナ/OTA計測システム | ■ OTA試験用リバレーションチャンバー
- 車載レーダーターゲットシミュレーター | ■ 電波・光地上局向けアンテナシステム | ■ レドーム | ■ 水素メーザー



ソフトウェア開発支援

ソフトウェア開発における品質・生産性向上を支援

“はかる”技術をソフトウェアの開発現場に活用し、品質や生産性の向上といった、ソフトウェア開発のライフサイクル全般を支援する製品とサービスを提供しています。さらに、世界で進むデジタルトランスフォーメーション(DX)に対応し、その安全・安心の実現のために最新のセキュリティソリューションを提供しています。



事業紹介サイトへ



C/C++言語用ソースコード静的解析ツール「Perforce QAC」



SaaS型継続的テストプラットフォーム「Perforce BlazeMeter」



ソフトウェア構成管理ツール「Perforce P4」

主な取扱製品

- ソフトウェア構成管理ツール | ■ デジタルアセット管理ツール | ■ プロジェクト管理ツール | ■ C/C++/C#/Java言語用静的解析ツール
- 脆弱性静的解析ツール | ■ データ仮想化・マスキングツール | ■ Webアプリ・パフォーマンステストツール | ■ IoTデバイスセキュリティソリューション
- ソースコード構造解析ツール | ■ ソフトウェア開発設計支援ツール

事業セグメント



防衛 / 海洋

防衛装備品や海洋調査・水産など海を“はかる”システムを提供

防衛装備品や、洋上・海中・海底・港湾エリアなど海にかかわる世界の先端技術を活用した海洋調査・計測機器を提供しています。防衛、洋上風力発電、水産業などの多方面で、海に囲まれた日本を支えています。



事業紹介サイトへ



マルチアスペクトソナー
[VOXOMETER]



船舶搭載型 光学 / 赤外線カメラ
[VIGY 4]



小型自律無人潜水機
[YUCO]

主な取扱製品

- マルチビーム測深機 | ■ 光学 / 赤外線カメラ | ■ 水中通話機 | ■ 気象観測システム | ■ 水中ロボット (ROV・AUV)
- 水中カメラ | ■ 地層探査装置 | ■ 水路測量ソフトウェア | ■ 慣性ジャイロ | ■ ハイドロホン



情報セキュリティ

“はかる”技術をサイバーセキュリティサービスに活用

サイバーセキュリティサービス事業を担う社内カンパニー「セキュリティ&ラボカンパニー」は、情報セキュリティ先進国の企業と提携し、サービスソリューション型・エンジニアリング型のサービスを提供しています。また、最新IT技術を活用し、新たなサービス・価値をリアルタイムに提供しています。



事業紹介サイトへ



DDoS攻撃対策プラットフォーム



DPI装置 / 帯域制御システム



脅威インテリジェンス / 継続的な脅威
エクスポージャー管理 (CTEM)

主な取扱製品

- DDoS攻撃対策 | ■ ディープパケットインスペクション (DPI) / 帯域制御 | ■ ネットワーク可視化 / サービス性能管理
- NDR / アクティブサイバーディフェンス | ■ ダークウェブ監視 / 脅威インテリジェンス
- 継続的な脅威エクスポージャー管理 (CTEM) / 外部攻撃面管理 (EASM) | ■ サプライチェーンリスクスコアリング
- パブリッククラウドセキュリティ | ■ コンテンツデリバリー / オープンキャッシング | ■ 大容量ログ分析

Security & Lab



JQA-IM1536
セキュリティ&ラボカンパニー



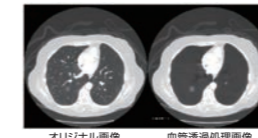
ライフサイエンス

ライフサイエンス分野に最先端ソリューションを展開

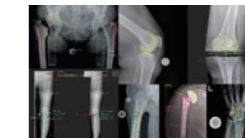
胸部X線・CT画像の読影支援システムや、整形外科領域における2D・3D画像を活用したデジタルプランニングツール (術前計画支援) など、先進の医用イメージング技術を通じて医師の業務を支援し、人々の健康増進に貢献しています。



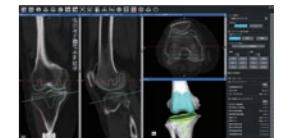
事業紹介サイトへ



胸部CT読影支援システム



整形外科2Dデジタルプランニングツール



整形外科3Dデジタルプランニングツール



主な取扱製品

- 胸部CT読影支援システム | ■ 胸部X線読影支援システム | ■ 整形外科デジタルプランニングツール | ■ 医療被ばく線量管理システム
- 医用画像画質改善ソフトウェア | ■ X線画像収集・処理・表示ボード | ■ 医用画像表示ディスプレイシステム | ■ 感染性廃棄物減菌装置



量子ソリューション

量子技術で次世代産業の革新を支援

2025年に新設した量子コンピューティング・カンパニーは、量子コンピューティングと量子センシング技術を活用した最先端の計算・解析ソリューションを提供し、次世代産業の革新を支援します。研究開発から社会実装まで一貫して推進し、量子時代の新たな価値を創造します。



事業紹介サイトへ



エラー訂正向け量子コンピューター
[Halocene]



HPC対応型量子コンピューター
[Radiance]



5量子ビット量子コンピューター
[Spark]

2025年、量子コンピューターの世界的リーディング企業であるIQM Quantum Computersと日本における量子コンピューターの販売代理店契約を締結しました。IQMの最先端技術と、当社の多様な事業領域で培ってきた技術・知見を融合することで、大学・研究機関や企業における実機導入を加速させるとともに、量子センシング分野においてもラインアップを拡充し、幅広い応用領域への展開を進めています。これらの取り組みを通じて、日本における量子技術を担う専門人材の育成と社会実装を推進していきます。

企業情報

会社概要

商号	株式会社東陽テクニカ
英文商号	TOYO Corporation
本社住所	東京都中央区八重洲一丁目1番6号
設立	1953年9月4日
資本金	41億5,800万円
従業員数	653名(連結)／524名(単体) ※2025年9月30日現在
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード:8151)
Webサイト	https://www.toyo.co.jp/

事業所

■ 本社 〒103-8284 東京都中央区八重洲一丁目1番6号	■ R&Dセンター 〒135-0042 東京都江東区木場一丁目1番1号	■ テクニカル&ロジスティクスセンター 〒243-0124 神奈川県厚木市森の里若宮11番1号
■ 大阪支店 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原一丁目6番1号 (新大阪ブリックビル)	■ 名古屋支店 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄二丁目3番1号 (名古屋広小路ビルディング)	■ 宇都宮営業所 〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷二丁目4番3号 (宇都宮大塚ビル)
■ 慶應義塾大学理工学部中央試験所・東陽テクニカ産学連携室 ノイメーシングセンター 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉三丁目14番1号 慶應義塾大学理工学部 矢上キャンパス36棟		

認証・許可・登録

建設業

特定建設業 東京都知事許可(特-5) 第156164号
 機械器具設置工事業
 一般建設業 東京都知事許可(般-4) 第156164号
 電気工事業

電気工事業

登録電気工事業 東京都知事届出 第2211712号

第二種医療機器製造販売業

医療機器製造業

高度管理医療機器等販売業

ISO 9001

認証種別: ISO 9001:2015
 認証機関: 一般財団法人日本品質保証機構(JQA)
 認証番号: JQA-QM8795

ISO/IEC 17025

ISO/IEC 17025認定
 認定機関: 米国 The American Association for Laboratory Accreditation (A2LA)
 認定番号: A2LA 2296.01
 校正範囲: 高周波計測器、DC電圧、AC電圧、抵抗、周波数

ISO 14001

認証種別: ISO 14001:2015
 認証機関: 一般財団法人日本品質保証機構(JQA)
 認証番号: JQA-EM4908

ISO/IEC 27001

認証種別: ISO/IEC 27001:2022 / JIS Q 27001:2023
 認証機関: 一般財団法人日本品質保証機構(JQA)
 登録事業者: 株式会社東陽テクニカ セキュリティ&ラボカンパニー
 登録証番号: JQA-IM1536
 登録活動範囲: セキュリティ対策用の情報通信機器及びソフトウェアの販売、納入・設置、検査、修理及び顧客サポート、並びに付帯するセキュリティ対策サービス

役員

取締役

代表取締役	高野 俊也
取締役	小野寺 充
取締役	今泉 良通
取締役	木内 健雄
取締役	松井 俊明
社外取締役(独立役員)	西 勝也
社外取締役(独立役員)	須加 深雪
社外取締役(独立役員)	依田 智樹

監査役

常勤監査役(独立役員)	澁谷 信
監査役(独立役員)	森川 紀代
監査役(独立役員)	堀之北 重久
監査役(独立役員)	藤原 久美子

執行役員

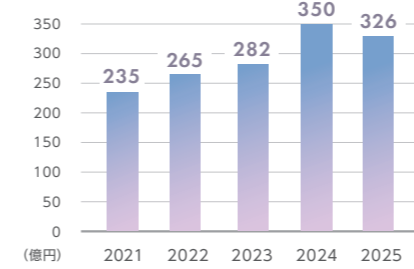
社長執行役員	高野 俊也
常務執行役員	小野寺 充
上席執行役員	今泉 良通
上席執行役員	木内 健雄
上席執行役員	松井 俊明
執行役員	川内 正彦
執行役員	西村 定治
執行役員	吹田 尚久
執行役員	池田 勝紀
執行役員	山崎 靖子
執行役員	長谷川 祐介
執行役員	三野 仁裕
執行役員	藤倉 恒喜

CORPORATE INFORMATION

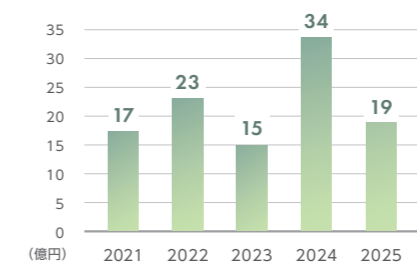
財務ハイライト

連結会計年度: 前年10月1日から9月30日まで

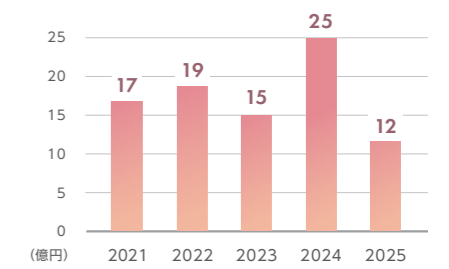
売上高



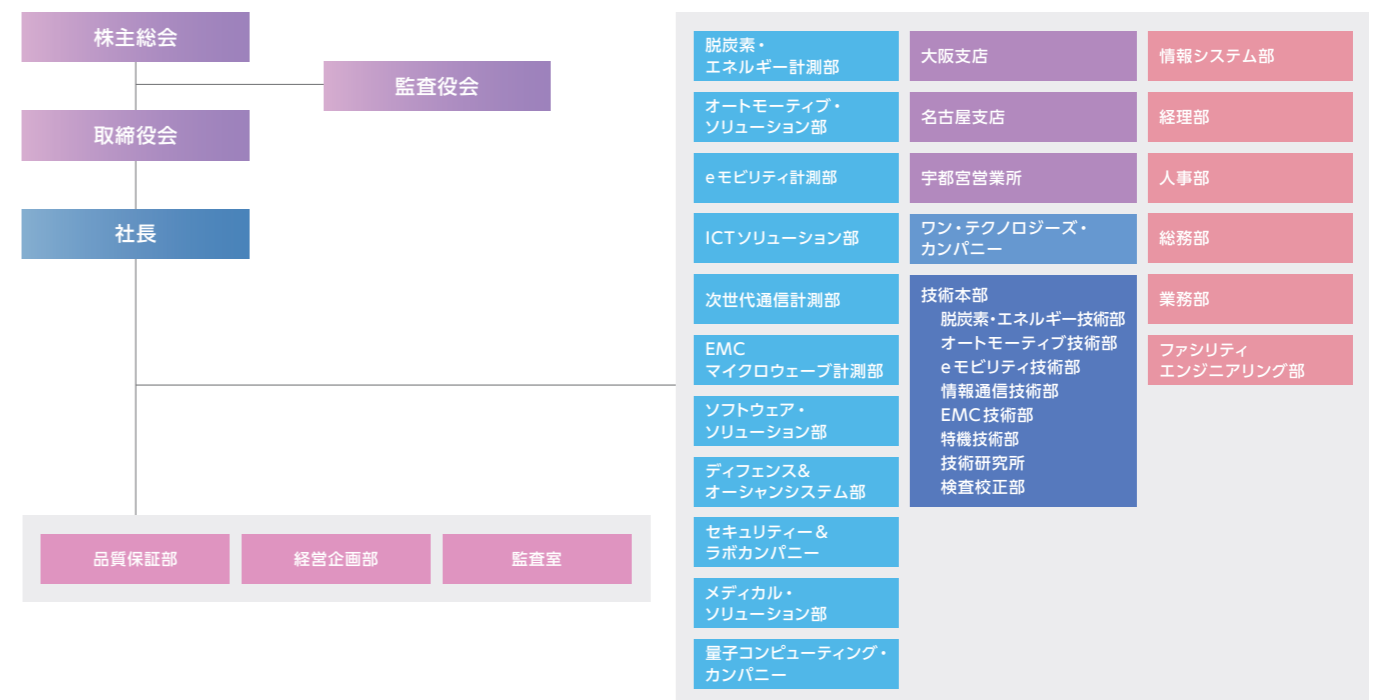
営業利益



当期純利益



組織図



沿革

1953年 ■ 工作機械の輸入販売を主業務とする光和通商株式会社(英文商号 Kowa Trading Co., Ltd.)を設立	1990年 ■ 東京証券取引所市場第一部に指定替え	2015年 ■ 米国カリフォルニア州に TOYOTech LLCを設立
1955年 ■ 東陽通商株式会社(英文商号 TOYO Trading Co., Ltd.)に商号変更 ■ 電子計測器分野に進出	2002年 ■ 電子技術センター、ISO 9001認証取得	2017年 ■ テクニカルリサーチラボを開設
1977年 ■ 英文商号をTOYO Corporationに変更	2005年 ■ ISO/IEC 17025認定取得および ISO 14001認証取得	2018年 ■ セキュリティ&ラボカンパニーにて ISO/IEC 27001認証取得
1984年 ■ 株式会社東陽テクニカに商号変更	2007年 ■ 電子技術センター内に キャリブレーション・ラボラトリー開設	2022年 ■ 東京証券取引所の新区分プライム市場に移行
1985年 ■ 電子技術センターを開設 ■ 東京証券取引所市場第二部に上場	2010年 ■ 中国上海市に東揚精測系統(上海)有限公司を設立	2023年 ■ R&Dセンターを開設
	2014年 ■ 東揚精測系統(上海)有限公司の北京分公司を設立	2025年 ■ 東揚精測系統(上海)有限公司の広州分公司を設立